

すばらしい地球を子どもたちに...



朗読劇

「とさつ子タウン」からESDを考えよう!

2月19日(土) 15:00~16:30(17:00まで開場)

- 15:05 ESDとは? 竹内よし子氏 (ESD-J理事)
「ESD=持続可能な開発のための教育」が必要となってきたのはなぜ? そして、ESDとしてどのような取り組みがされているのでしょうか?
- 15:20 「とさつ子タウン」の紹介と朗読劇 (とさつ子タウン実行委員会)
子どもたちが社会の実体験を楽しむ「とさつ子タウン」。
運営の舞台裏ではいろいろな意見が生まれます。あなただったらどうするかな?
- 16:10 まとめ・講評 丹下晴美氏 (元今治市立鳥小学校長)



主催 四国EPO
(四国環境パートナーシップオフィス)

協力 ESDフォーラム実行委員会
後援 香川県教育委員会、高松市教育委員会、
愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、
徳島県教育委員会、

★パネル展示 <四国のESD取り組み事例のご紹介>

- 高知県: NPO法人 NPO 高知市民会館 ・ 高知県環境カウンセラー協議会 ・ NPO 法人環境の杜こうち ・ NPO 法人黒潮実感センター ・ 黒潮生物研究所
- 愛媛県: 松山 ESD 促進実行委員会 ・ 小野中 ESD
- 徳島県: 正体寺川を考える会 ・ 環境首都ぞくしま創造センター
- 香川県: 普通寺こどもエコクラブ ・ 独立行政法人国際協力機構四国支部 (JICA 四国)

★ESDを広げるしくみに参加しませんか? <+ESD プロジェクト>



+ESDプロジェクトとは

地域でいろいろな人と協力して環境保全に取り組んでいる、まちづくりをしているなど、あなたの活動は未来をつくる人づくり活動につながっているかもしれません。世界ではこれらの活動をESDと呼んでいます。

「みんなの活動にESDの視点をプラスすることによって、活動をパワーアップさせるプロジェクト。これが「+ESD プロジェクト」です!

+ESDプロジェクトが目指すこと

「未来をつくる人づくり活動(ESD活動)」の普及と発信、そして実務者同士の学びあいの場、実務者との出会いの場をつくることにより、みなさんのESD活動のさらなる活性化が期待され、地域社会や地球規模の課題解決に向けた住民と地域の力を高めることを目指します。

こんな活動、こんな支援の登録を期待しています。

- ◆ 活動の登録
環境、人権、御前福祉、多文化共生、まちづくり等をテーマとして、NPO、学校、企業などが行う持続可能な社会づくりに向けた人づくりの活動。
- ◆ 支援事業の登録
中間支援組織、NPO、企業、人学、自治体などが行うESD活動を支援する事業。

学びをつなぐ未来をつくる +ESD プロジェクト
あなたの活動に +ESD 登録募集中!

<とさつ子タウンとは？>



人材育成事業

こどもが運営するまち
「とさつ子タウン2009」の開催



2009年9月26日・27日の2日間、高知市のりょうまスタジアムにて開催しました。こども279人、大人・学生スタッフ80人、様々な仕事の専門家70人、総教員459人が参加。また、高知ならではの仕事や文化を楽しく体験してもらうこと、こども同士のコミュニケーションが生まれること、社会のしくみに関心を持ってもらうことが「とさつ子タウン」のネライです。「とさつ子タウン」では、市民証をもとに市民登録を「とさつ子タウン」で行い、まちの約束ごとを学んだあと、ハローワークで仕事を運びます。そして、一定時間仕事をすれば銀行で給料(トスという地域通貨)をもらい、投票券で税金を支払います。お金はまちの中で使えるし、銀行に貯金もできます。就労経験を積み資金を貯めれば、店の経営者になれるし、新規店舗を開設することもできます。さらに、市成選挙で市長を選び、まちの課題を解決し、こどもたちがまちの運営を行います。



「とさつ子タウン」のしくみ



本の紹介：こどもがまちをつくる「遊びの都市・ミニ・ミュンヘン」からのひろがり
(第1章「こどものまち」の広がり P72～P73にとさつ子タウン掲載)

<ESDとは？>
Education for Sustainable Development = 「持続可能な開発のための教育」
= ESD(イー・エス・ディー)

全ての人々が安心して暮らせる未来を実現するには、わたしたち一人ひとりが、互いに協力し合いながら、さまざまな課題に力を合わせて取り組んでいくことが必要です。そして未来へ向けに取組みに必要能力や考え方を人々が学び育むこと、それが「持続可能な開発のための教育」= ESD(イー・エス・ディー)です。

ESDの狙い

1. 人間の尊厳はかけがえない
2. 私には社会的・経済的に公正な社会をつくる責任がある
3. 現世代は将来世代に対する責任を持っている
4. 人は自然の一部である
5. 文化的な多様性を尊重する

ESDを通じて育みたい「能力」

1. 自分で感じ、考える力
2. 問題の本質を見抜く力/批判する思考力
3. 気持ちや考えを表現する力
4. 多様な価値観をみとめ、尊重する力
5. 他者と協力してものごとを進める力
6. 具体的な解決方法を生み出す力
7. 自分が望む社会を思い描く力
8. 地域や国、地球の環境容量を理解する力
9. みずから実践する力

ESDが大切にしている「学びの方法」

1. 参加体験型の手法が活かされている
2. 現実的課題に実践的に取り組んでいる
3. 継続的な学びのプロセスがある
4. 多様な立場・世代のひとと学ぶ
5. 学習者の主体性を尊重する
6. 人や地域の可能性を最大限に活かしている
7. 関わる人が互いに学び合える
8. ただ一つの正解をあらかじめ用意しない